

ZOOM 学習会のご案内

自然素材100%の断熱ボード くん炭ボードって何？

温暖化を防ぐためには、家を断熱すると効果的です。けれども、近年断熱材には、発泡プラスチック系の素材が大量に使われています。目に見えないからこそ大事なものの、快適な家づくりは断熱材から・・・できれば、自然素材で断熱したい！

今回は、秋田県で生産されている断熱素材についての学習会です。もみ殻燐炭ボードは、もみ殻、こうぞ、杉の樹皮など自然素材100%。断熱、消臭、湿気対策に効果が高く、家も廃棄する時のことを考えて素材を選ぶことが大切です。長時間過ごすことになる家の材料についてみんなで考えてみましょう。



無料

日時：8月21日(木) 14時～15時30分

講師 ナルセ・インダストリィ 山田 秀樹 氏

申し込み不要です。

ZOOM 画面に所属団体とお名前を記載してご参加をお願いします

13：45から入室可能です。

<https://us02web.zoom.us/j/88073231540?pwd=6i3KaFTbpha6E9aYdDjPSstLr7ZJKX.1>

ミーティング ID: 880 7323 1540

パスコード: 495389

環境について
考えてないのは誰だあ？



一般
社団法人 **繊維リサイクル協会**

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

報告

特定非営利活動法人 エコ・リサイクル連絡会

第21 期通常社員総会 報告

令和7年5月15日 14時00分から生涯学習総合センター9F・学習室3において
令和7年度通常総会を出席者13名、委任状29名にて開催いたしました。

総会に先駆けて主催者挨拶、続いて埼玉県環境部資源循環推進課 副課長 西川智久様
より来賓祝辞を頂きました。(来賓祝辞全文は HP にて掲載)

- ・令和6年度事業報告及び決算報告
- ・令和7年度事業計画及び予算
- ・令和7年度役員選任

が承認されました。



来賓 資源循環推進課
副課長 西川智久氏



エコ・リサイクル連絡会 会員募集中

埼玉県内の環境活動について情報共有し、活動の交流、活発化を目指す団体です。
ぜひ、様々な地域での活動情報をお寄せください。

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」 お気軽にお問い合わせください！

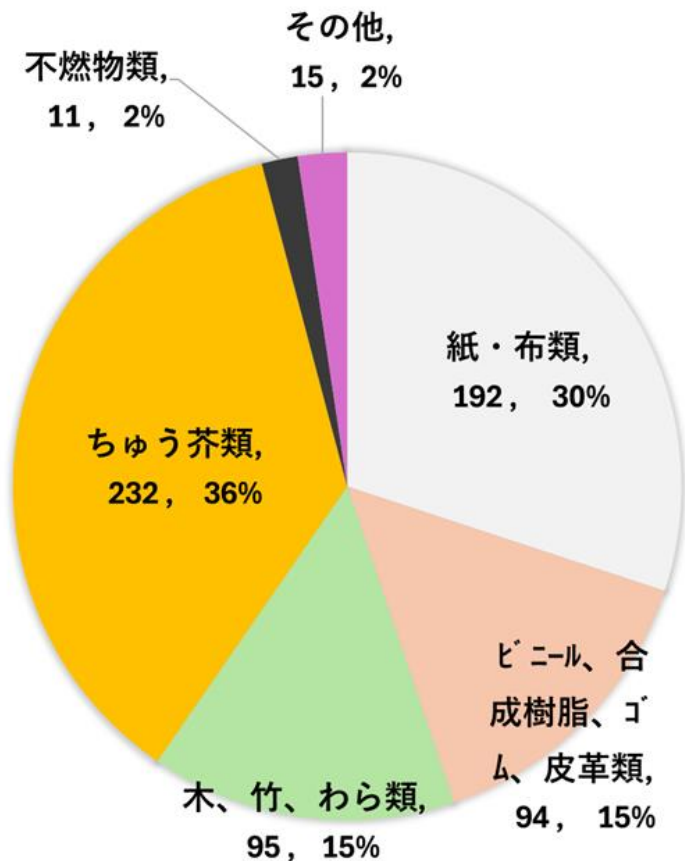
お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

令和 5 年度の焼却ごみの内容

環境省 HP；一般廃棄物処理実態調査結果（報告 2025 年令和 7 年 3 月 27 日公表データ）より

埼玉エコ・リサイクル連絡会
ごみを知ろう委員会 中澤啓子

令和5年度の焼却ごみ



令和 5 年度の埼玉県の焼却ごみを“エコ・リサイクル連絡会ごみを知ろう委員会方式”で解析しました。その結果 1 人一日あたり 639 グラムでした。(左グラフ)

ちゅう芥類と分類されているいわゆる生ごみが約 36% と一番多く、次いで紙や布類が 30% でした。ビニールや合成樹脂類（プラ容器ごみ類）は、15% でしたが、こちらは細かくしてごみに出すのはなかなか困難なものが多いと思いますので、ごみ袋の中ではかなりの容積を占めているのではないのでしょうか。

一人一日あたりの焼却ごみの量について

エコリサで計算しているごみの量は環境省のデータを基にしています。

令和 5 年度のごみの量は令和 5 年 4 月～6 年 3 月末日までの量が令和 6 年度になって纏められ経費と共に各焼却場からデータが送られ市町村で審議されます。最終的に審議が終わるのが 12 月頃の所が多いようです。その結果が環境省に送られて公表されます。今回は少々早く、令和 6 年度末（令和 7 年 3 月 27 日）には公表されました。

埼玉エコ・リサイクルで推計している焼却ごみの内容について

環境省のデータでは焼却ごみの各内容は乾燥重量の割合で示されています。割合のデータをそのまま平均したのでは各焼却場の規模がそれぞれ違いますので、本当の平均は出せません。

そこで、ごみを知ろう委員会では、焼却場ごとのゴミの乾燥データに水分をふくませて割り戻し、計算しなおして報告しています。これが今回の 639g です。各自治体ごとに回収している生活系焼却ごみの量の平均値 614g より焼却処理量の結果の方が少し多い数字になっています。（グラフ赤の棒グラフは焼却場での焼却処理量 茶色のグラフは各家庭から回収されているごみの量です。約 20 g ～30 g の差があります。）

639g の焼却処理量ですが、ごみを知ろう委員会では、埼玉県内の各焼却場で報告された一年度分のごみの量を合計して人口で割り 639g という一日あたりの数字を計算しました。この各焼却場の処理量には

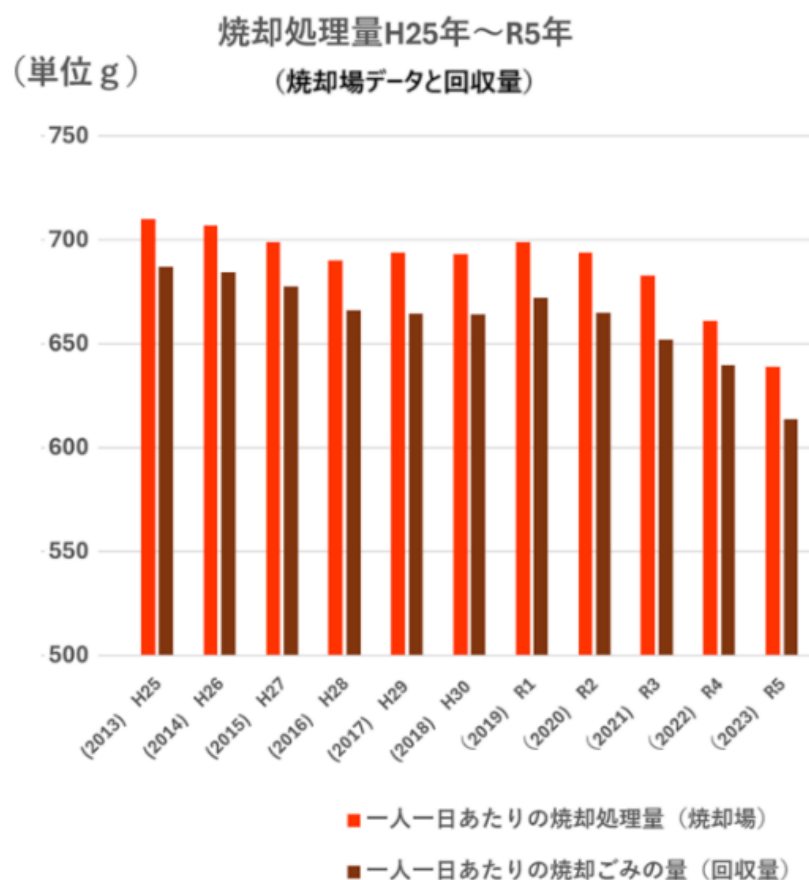
- ① 各家庭から出され収集された生活系の焼却ごみ
- ② 事業系のごみ
- ③ リサイクル残渣（粗大ごみ破碎処理残渣含む）
- ④ し尿や汚泥の一部
- ⑤ 産廃

などが合算されています。

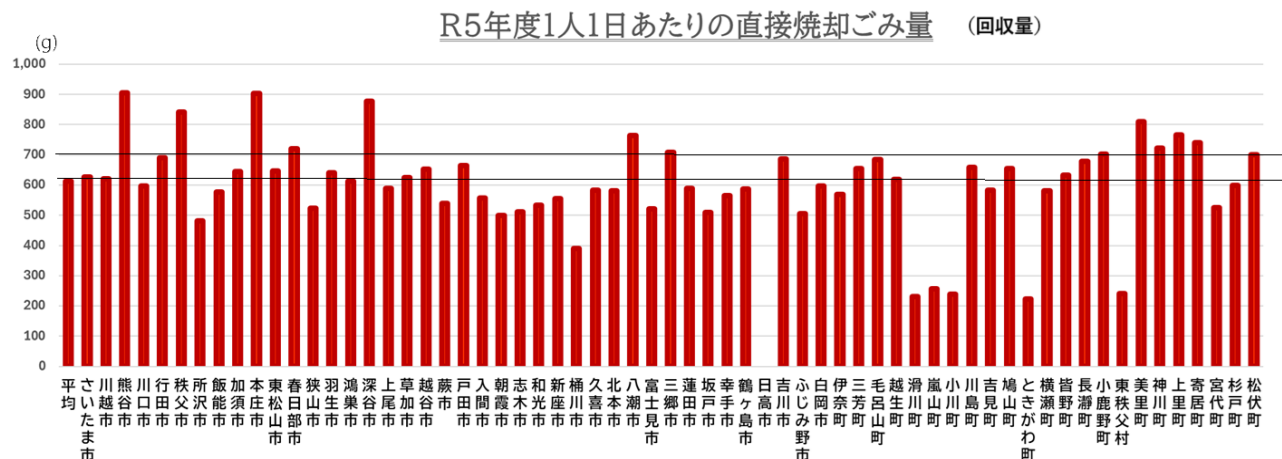
（④⑤のごみは全ての焼却場が引き受けているわけではありません）

一人一日あたりのごみの量は 一時期（平成 29 年度頃から令和 1 年度）なかなか減りませんでした、その後また次第に減ってきています。

（右グラフ：平成 25 年度から令和 5 年度）

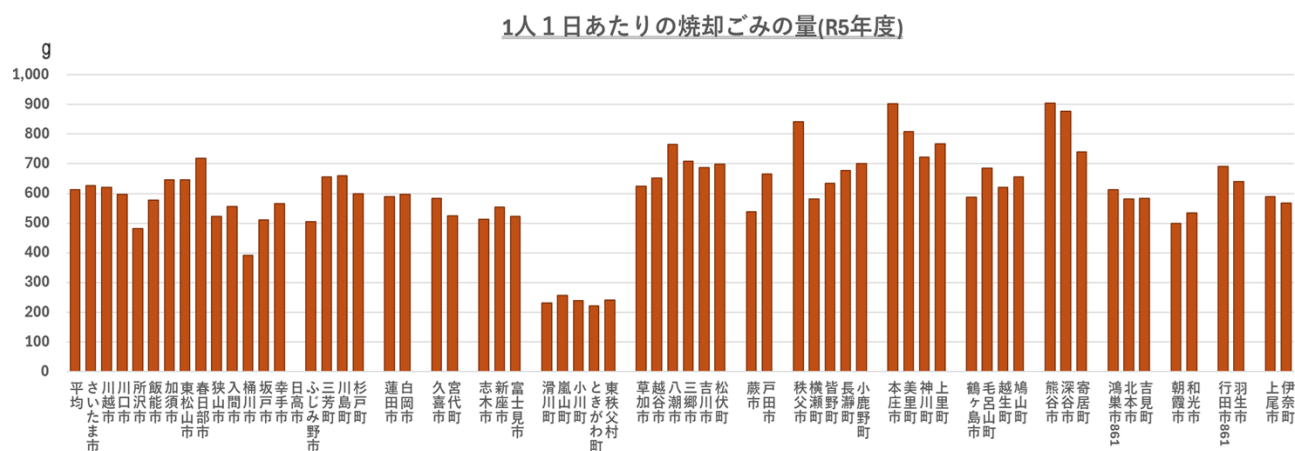


焼却ごみの一人一日あたりの量は自治体ごとに何故か？ 大変に違います。



また、“もやせるごみ”として回収していても日高市の様に焼却ごみとしては集計せずリサイクルとして届けている町（太平洋セメント株式会社埼玉工場でセメントにリサイクル）もあります。なので焼却ごみはなし。逆に焼却ごみとして回収し集計していてもお役所の管轄していない処理施設（オリックス資源循環㈱の寄居バイオガスプラント）で処理している地区もあります。（小川地区）

焼却ごみの量の地域差ですが。下のグラフは R5 年度の一人一日あたりの焼却ごみの回収量を一部事務組合ごとにまとめたグラフですが、



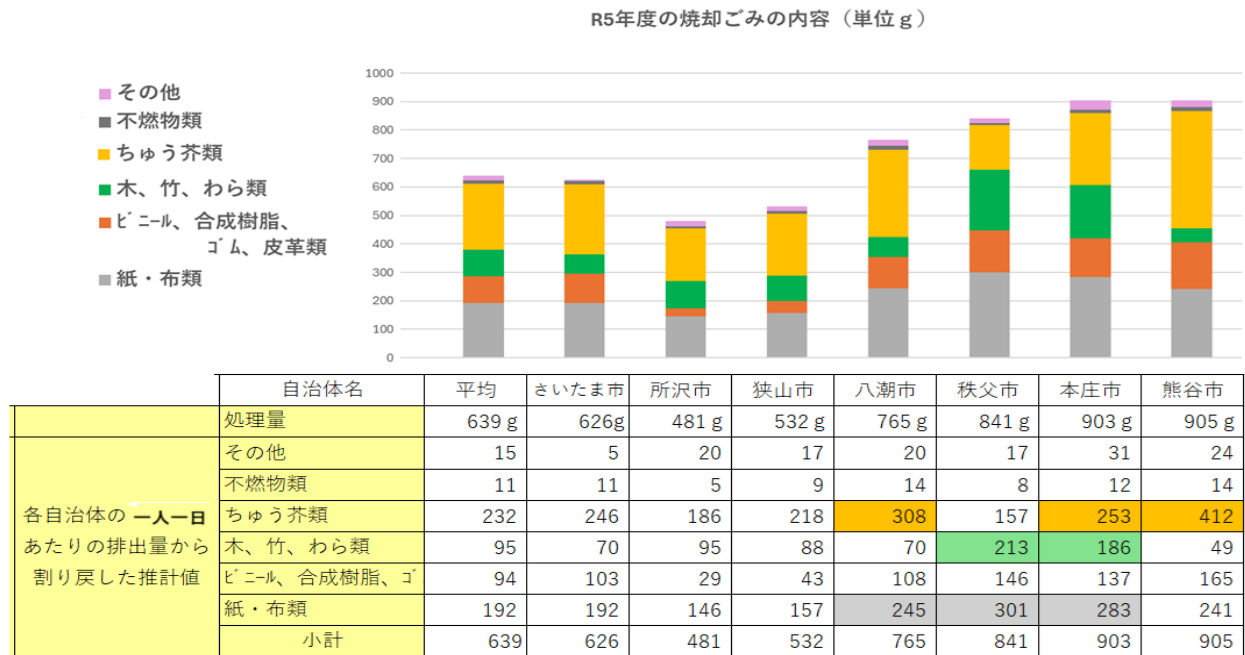
* 注 鴻巣市と行田市は町村合併で二つの事務組合に所属することになってしまった。

上尾市と伊奈町は令和5年度より一部事務組合を作りました。

少ない所はときがわ町の 222g で多い所は熊谷市の 905g でした。

ごみの焼却に苦勞している所の方が少ない傾向に有るように見えますが？ 皆さんの自治体ではいかがでしょうか？

そこで、いくつかの自治体のごみの内容を比べてみました。



各地区で考えてみてください！

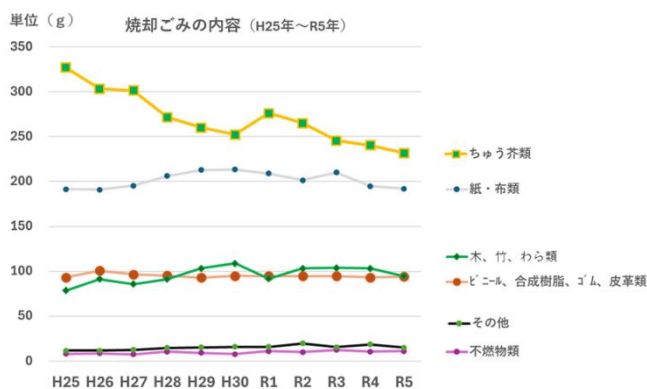
焼却ごみの内容

焼却ごみの量は少しずつ減っているようですが、では何が減っているのでしょうか

焼却ごみの内容を平成 25 年度から令和 5 年度まで比べてみました。主として減っていたのは

はちゅう芥ごみでした。（左グラフ） ビニール類（プラごみ類）は減っている様子はありませんでした。多くのお店や自治体でペットボトルや発泡スチロール製のトレイの回収がされています。ペットボトルはほとんど回収されているらしいのですが、プラごみ全体では軽いからでしょうか？減っているようにはみえません。お店でのレジ袋も有料化となり（令和 2 年 7 月）、買い物

袋を持っている方を多く見かけるようになりました。意識の高まりは感じますが残念です。



紙や布類の回収もかなり復活してきたと思います。リサイクルマーケットも時々見られるようになってきました。手軽に不用品が譲れるインターネットのサイトもできています。

不用品とはいえ燃やしてしまったら元には戻りません。できるだけ有効利用して焼却処分を少なくしたいものです。

講師 中澤啓子氏

秋田県でエコな蓄電池

グリーンコンシューマー委員会 大前万寿美

できれば自宅で太陽光発電して再エネ100%で暮らしたい。必要になるのが蓄電池です。燐炭ボードの発明者である秋田県増田町の藤原六郎氏のもみ殻燐炭を使った蓄電池の制作現場を見学させていただきました。

全国のもみ殻排出量は約200万トン、秋田県でも年間12万トンのもみ殻が排出されています。原則野焼きが禁止されるようになってから、畜産や堆肥に利用される以外の用途が模索されています。



もみ殻を酸素のない状態で燃やすと炭になります。もみ殻には、種を守るための強度を保つケイ素(シリカ)も含まれています。もみ殻燐炭は、ナノレベルのたくさんの穴がある物質に変化します。

この小さな穴はイオンをため込むことができるので、蓄電池の材料として使うことができます。金属プレート両面に薄くもみ殻燐炭の粉末を接着させ、それを何枚も重ねることで蓄電能力をアップさせる仕組みです。

藤原氏のもみ殻燐炭を使った蓄電池は、レアメタルなどを使わず、秋田県産のもみ殻を使って、長く使用できるエコな蓄電池です。

サイズは大きくなってしまいますが、室外に置く蓄電池であれば少々大きくても置き場さえ確保できればよいようです。国産素材の廃棄物利用で蓄電池が量産できるようになれば、ぜひ我が家でも太陽光発電に接続して自前の電気で暮らしたいと思います。

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX: 03-6859-4433

編集後記

今年の夏は長くなりそうですね。くれぐれも体調を崩されませんようにお祈りしております。学習会や研修見学会には、皆さまお元気で参加されることを楽しみにしております。

大前万寿美